

第7次保健医療計画 施策体系と取組の方向

現状と課題	施策体系	主な取組内容	数値目標																		
<p>【現状】</p> <p>○特定健診受診率 H27: 45.37% (全国 50.1%)</p> <p>○人口 10 万人対受療状況 (H26)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの年齢区分で入院、外来とも全国値を上回る</li> </ul> <p>○死因別死亡率・構成割合 (H22→H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡率は、悪性新生物、心疾患、肺炎で上昇傾向</li> <li>・死因別構成比は、3 大疾患で半数以上を占める</li> <li>悪性新生物 27.6% (H22:29.2% ~ Δ1.6%)</li> <li>心疾患 16.1% (H22:17.0% ~ Δ0.9%)</li> <li>肺炎 10.0% (H22:10.2% ~ Δ0.2%)</li> <li>脳血管疾患 8.1% (H22:9.2% ~ Δ1.1%)</li> </ul> <p>○糖尿病有病者推定数 H28:223 千人</p> <p>○精神疾患患者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規入院は 8,000 人前後で推移、通院は増加傾向</li> <li>・疾患別では、統合失調症、気分障害(うつ病等)が増加</li> </ul>	<p>がんなど主要な疾病の医療体制</p>	<p>○予防、早期発見のための検診受診率の向上</p> <p>○がん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の質の向上、受診率の向上</li> <li>・広島県がん医療ネットワークによる 5 大がんの対策等</li> </ul> <p>○脳卒中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかな救急搬送と専門的診療の実施</li> <li>・病期に応じたリハビリテーション、再発防止</li> </ul> <p>○心筋梗塞等の心血管疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかな救命処置・搬送と専門的診療の実施</li> <li>・病期に応じたリハビリテーション、再発防止</li> </ul> <p>○糖尿病性腎症等の重症化予防</p> <p>○精神疾患対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な疾患等ごとの医療連携体制の構築</li> <li>・目標設定による長期入院患者の地域移行の推進</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>H27 45.3%</td> <td>H35 70.0%</td> </tr> <tr> <td>がん検診受診率</td> <td>H28 胃 40.5% 肺 42.1% 大腸 38.8% 子宮頸 40.2% 乳 40.3%</td> <td>H35 全て 50%以上</td> </tr> <tr> <td>在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合</td> <td>H26 56.9%</td> <td>H35 62.6%</td> </tr> <tr> <td>在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合</td> <td>H26 95.5%</td> <td>H35 96.6%</td> </tr> <tr> <td>地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)</td> <td>—</td> <td>H32 347 人</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	特定健診受診率	H27 45.3%	H35 70.0%	がん検診受診率	H28 胃 40.5% 肺 42.1% 大腸 38.8% 子宮頸 40.2% 乳 40.3%	H35 全て 50%以上	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	H26 56.9%	H35 62.6%	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	H26 95.5%	H35 96.6%	地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)	—	H32 347 人
指標	現状	目標																			
特定健診受診率	H27 45.3%	H35 70.0%																			
がん検診受診率	H28 胃 40.5% 肺 42.1% 大腸 38.8% 子宮頸 40.2% 乳 40.3%	H35 全て 50%以上																			
在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	H26 56.9%	H35 62.6%																			
在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	H26 95.5%	H35 96.6%																			
地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)	—	H32 347 人																			
<p>【課題】</p> <p>◆年齢や疾病に応じた疾病予防、重症化予防、再発予防により、高まる病気やケガのリスクを軽減し、健康寿命の延伸を図る必要がある。</p>	<p>救急医療などの医療連携体制</p>	<p>○救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院前救護体制の充実・強化</li> <li>・初期、二次、三次救急医療体制の確保</li> </ul> <p>○災害時における医療体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害拠点病院等の BCP(業務継続計画)策定</li> <li>・災害拠点精神科病院、災害派遣精神医療チーム</li> </ul> <p>○へき地の医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地医療拠点病院の支援と機能強化</li> <li>・自治医科大卒、ふるさと卒医師等の配置</li> </ul> <p>○周産期医療、小児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦人科医、小児科医の確保</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重症以上傷病者の搬送において、医療機関に 4 回以上受入れの照会を行った割合</td> <td>H27 3.0%</td> <td>H35 3.0%以下</td> </tr> <tr> <td>業務継続計画(BCP)に基づき、被災した状況を想定した院内訓練・研修を実施した災害拠点病院の割合</td> <td>H29 0%</td> <td>H35 100%</td> </tr> <tr> <td>過疎市町の人口 10 万人当たり医療施設従事医師数</td> <td>H28 190.5 人</td> <td>H34 203.4 人以上</td> </tr> <tr> <td>周産期死亡率</td> <td>H24-28 3.5</td> <td>全国平均以下</td> </tr> <tr> <td>小児死亡率</td> <td>H24-28 0.22</td> <td>全国平均以下</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	重症以上傷病者の搬送において、医療機関に 4 回以上受入れの照会を行った割合	H27 3.0%	H35 3.0%以下	業務継続計画(BCP)に基づき、被災した状況を想定した院内訓練・研修を実施した災害拠点病院の割合	H29 0%	H35 100%	過疎市町の人口 10 万人当たり医療施設従事医師数	H28 190.5 人	H34 203.4 人以上	周産期死亡率	H24-28 3.5	全国平均以下	小児死亡率	H24-28 0.22	全国平均以下
指標	現状	目標																			
重症以上傷病者の搬送において、医療機関に 4 回以上受入れの照会を行った割合	H27 3.0%	H35 3.0%以下																			
業務継続計画(BCP)に基づき、被災した状況を想定した院内訓練・研修を実施した災害拠点病院の割合	H29 0%	H35 100%																			
過疎市町の人口 10 万人当たり医療施設従事医師数	H28 190.5 人	H34 203.4 人以上																			
周産期死亡率	H24-28 3.5	全国平均以下																			
小児死亡率	H24-28 0.22	全国平均以下																			
<p>【現状】</p> <p>○救急搬送件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27:112,968 (H22:106,884 ~ +6,084, +5.7%)</li> <li>・重症及び中等症で 57.5%の一方、軽症も 41.1%</li> </ul> <p>○救急告示医療機関数 H22:147 施設 → H29:140 施設, Δ7</p> <p>○無医地区 H21:53 地区 → H26:54 地区</p> <p>○分娩取扱医療機関数 H24:61 施設 → H29:54 施設, Δ7</p> <p>○小児医療機関数 H23:207 施設 → H26:202 施設, Δ5</p> <p>【課題】</p> <p>◆どこに住んでいても適切な医療が受けられる医療連携体制を確保していく必要がある。</p>	<p>在宅医療と介護等の連携体制</p>	<p>○地域包括ケアシステムの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院支援から看取りまで切れ目なく行われる在宅医療提供体制の構築</li> <li>・医療機関、歯科医療機関、薬局、訪問看護事業所の適切な役割分担による在宅医療の充実</li> </ul> <p>○患者、住民の在宅医療への理解促進</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅看取り件数</td> <td>H29 調整中</td> <td>H32 調整中</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーションの空白地域数</td> <td>H29 12 市町 32 日常生活圏域</td> <td>H35 0 市町</td> </tr> <tr> <td>ACP 普及啓発実施地域</td> <td>H28 12 市町</td> <td>H32 23 市町</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	在宅看取り件数	H29 調整中	H32 調整中	訪問看護ステーションの空白地域数	H29 12 市町 32 日常生活圏域	H35 0 市町	ACP 普及啓発実施地域	H28 12 市町	H32 23 市町						
指標	現状	目標																			
在宅看取り件数	H29 調整中	H32 調整中																			
訪問看護ステーションの空白地域数	H29 12 市町 32 日常生活圏域	H35 0 市町																			
ACP 普及啓発実施地域	H28 12 市町	H32 23 市町																			
<p>【現状】</p> <p>○訪問診療の実施 H26:721 診療所, 81 病院</p> <p>○訪問看護利用者(延べ) H24:19,175 人 → H27:26,621 人</p> <p>【課題】</p> <p>◆退院後も在宅等において安心して医療が受けられる在宅医療と介護サービスの基盤整備を一体的に推進していく必要がある。</p>																					

現状と課題	施策体系	主な取組内容	数値目標															
<p>【現状】</p> <p>○健康寿命（H25）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性 70.93（全国 33 位）</li> <li>・女性 72.84（全国 46 位）</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>◆ライフステージに応じた生活習慣病の予防支援体制を強化し、健康寿命の延伸を図る必要がある。</p>	<p>保健医療各分野の総合的な対策</p>	<p>○口腔ケアの推進による生活習慣病の予防、周術期における合併症リスクの低下、要介護者の口腔機能維持や誤嚥性肺炎の予防</p> <p>○高齢化に伴い増加するロコモティブ・シンドローム、フレイル、大腿骨頸部骨折等の予防対策</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康寿命</td> <td>H25 男性 70.93 女性 72.84</td> <td>全国平均を上回り、平均寿命以上の伸びに延伸</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	健康寿命	H25 男性 70.93 女性 72.84	全国平均を上回り、平均寿命以上の伸びに延伸									
指標	現状	目標																
健康寿命	H25 男性 70.93 女性 72.84	全国平均を上回り、平均寿命以上の伸びに延伸																
<p>【現状】</p> <p>○療育手帳保持者数 H23:20,643 → H28:23,186, +2,543</p> <p>○難病・小児慢性特定疾病承認数 H23:20,015 → H28:24,032, +4,017</p> <p>【課題】</p> <p>◆障害者や難病患者が安心して生活できる保健と医療の一体的な支援を推進する必要がある。</p>		<p>○医療的ケア児に適切な支援を行うため、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関による協議の場の設置</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養介護（1ヵ月）</td> <td>H28 641 人分</td> <td>H32 調整中</td> </tr> <tr> <td>短期入所（1ヵ月）</td> <td>H28 11,826 人分</td> <td>H32 調整中</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	療養介護（1ヵ月）	H28 641 人分	H32 調整中	短期入所（1ヵ月）	H28 11,826 人分	H32 調整中						
指標	現状	目標																
療養介護（1ヵ月）	H28 641 人分	H32 調整中																
短期入所（1ヵ月）	H28 11,826 人分	H32 調整中																
<p>【現状】</p> <p>○病床機能報告による病床数</p> <p>高度急性期 5,401 床 急性期 12,657 床 回復期 4,136 床 慢性期 9,702 床</p> <p>○病床機能の分化・連携の推進により在宅医療等へ移行する患者見込数 H37 10,185 人 ※93%が 65 歳以上</p> <p>【課題】</p> <p>◆限られた医療資源を効率的に活用するため、病床機能の分化と連携を促進する必要がある。</p> <p>◆急性期から在宅医療まで円滑に移行できる体制が必要である。</p>	<p>地域医療構想の取組</p>	<p>○地域医療構想調整会議における協議の促進</p> <p>○不足が見込まれる回復期病床への基金を活用した支援など、各種事業の実施</p> <p>○療養病床からの“介護医療院”等への円滑な転換を図る市町介護サービスとの連携</p>	<p>○平成 37（2025）年における必要病床数（暫定推計値）</p> <p>高度急性期 2,989 床 急性期 9,118 床 回復期 9,747 床 慢性期 6,760 床以上 計 28,614 床以上</p> <p>○療養病床転換意向（H29.9 調査）</p> <p>H32 年度末 1,234 床（1,135 人）稼働率 92% H35 年度末 2,307 床（2,122 人）稼働率 92%</p>															
<p>【現状】</p> <p>○人口 10 万対医療施設従事医師数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全県 H24:245.4 人 → H28:254.6 人,</li> <li>・過疎市町 H24:181.4 人 → H28:190.5 人,</li> </ul> <p>○就業看護職員数 H28:42,904 人（需要推計 H35:45,287 人）</p> <p>○介護職員数 H26:47,725 人（需要推計 H37:61,627 人）</p> <p>【課題】</p> <p>◆医師の偏在解消に向けた適正配置が必要である。</p> <p>◆キャリア形成支援など多様な取組による医療従事者や介護職員の確保、育成が必要である。</p> <p>◆介護職員については、大幅な不足が見込まれる。</p>	<p>保健医療体制を支える人材の確保・育成</p>	<p>○地域医療支援センターを中心とした自治医大卒、ふるさと枠医師等の適切な配置調整</p> <p>○新専門医制度への対応</p> <p>○女性医師等の就業環境の改善など</p> <p>○人材のマッチング、職場改善・資質向上、イメージ改善・理解促進などの施策を行政・関係団体が一体的に推進</p> <p>○外国人材受入の本格化に向けた準備</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口 10 万人当たり医療施設従事医師数</td> <td>H28 254.6 人</td> <td>H34 264.6 人以上</td> </tr> <tr> <td>在宅支援薬剤師専門研修修了薬剤師数</td> <td>H28 109 名</td> <td>H35 645 名</td> </tr> <tr> <td>就業看護職員数</td> <td>H28 42,904 人</td> <td>H35 45,276 人</td> </tr> <tr> <td>3 年未満職員の離職率（介護関係職員）</td> <td>H28 64.6%</td> <td>H35 56.0%</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	人口 10 万人当たり医療施設従事医師数	H28 254.6 人	H34 264.6 人以上	在宅支援薬剤師専門研修修了薬剤師数	H28 109 名	H35 645 名	就業看護職員数	H28 42,904 人	H35 45,276 人	3 年未満職員の離職率（介護関係職員）	H28 64.6%	H35 56.0%
指標	現状	目標																
人口 10 万人当たり医療施設従事医師数	H28 254.6 人	H34 264.6 人以上																
在宅支援薬剤師専門研修修了薬剤師数	H28 109 名	H35 645 名																
就業看護職員数	H28 42,904 人	H35 45,276 人																
3 年未満職員の離職率（介護関係職員）	H28 64.6%	H35 56.0%																